

第四次国有林野施業実施計画 第二次変更計画書

(上川北部森林計画区)

計画期間 (自 平成25年4月 1日
至 平成30年3月31日)

策 定 年 月 日 : 平成25年3月28日
第 一 次 変 更 年 月 日 : 平成26年3月28日
第 二 次 変 更 年 月 日 : 平成28年3月28日

北海道森林管理局

上川北部森林計画区の第四次国有林野施業実施計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき変更する。

- 1 施業方法の精査により、主伐箇所の伐採方法及び更新方法の変更に伴い、水源涵養タイプにおける施業群別面積等及び水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積を変更する。
- 2 森林整備の必要箇所の精査により、人工林等の間伐等に係る伐採箇所及び更新箇所の追加等から伐採総量、更新総量及び保育総量を変更する。

なお、本変更計画は、平成28年4月1日から適用する。

【変更項目及び頁】

- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
 - (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積 (1) 1
 - (3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採量 (2) 2
 - (4) 伐採総量 <1> 2
 - (5) 更新総量 (4) 6
 - (6) 保育総量 (4) 6

注：1 () 書きは、上川北部森林計画区の第四次国有林野施行実施計画書、< > 書きは第一次変更計画書の頁である。

2 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、下線部が変更等の箇所である。

【現行計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	1,257	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	-	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	868	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	23,273	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	57,907	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	15,017	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	98,322			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	89	-	148	3,879	9,651	2,503

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	3,273	(1,250) 60,829	64,102				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	-	-				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(192) 7,979	7,793	15,772			
	長期単層林	-	-	-			
	複層林	(5) 11,993	387	12,380			
	混交林	(2,074) -	105,942	105,942			
	育成天然林	-	-	-			
	天然生林	-	-	-			
	計	(2,271) 19,972	114,122	134,094			
合 計	(3,521) 23,245	174,951	198,196	30,000	228,196	-	228,196
年 平 均	(704) 4,649	34,990	39,639	6,500	46,139	-	46,139

注1) 上段()は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

【変更計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	1,260	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ・エゾマツ	80年
			カラマツ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	-	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	120年
			カラマツ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	866	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	23,273	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	57,907	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	15,017	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	98,322			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	97	-	150	3,879	9,651	2,503

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林			地		林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	3,273	(1,250) 60,829	64,102				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	-	-				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(202) 10,317	8,045	18,362			
	長期単層林	-	-	-			
	複層林	(5) 11,779	387	12,166			
	混交林	(2,423) -	113,861	113,861			
	育成天然林	-	-	-			
	天然生林	-	-	-			
	計	(2,630) 22,096	122,293	144,389			
合 計	(3,879) 25,369	183,122	208,491	30,000	238,491	-	238,491
年 平 均	(883) 5,711	39,076	44,787	6,500	51,287	-	51,287

注1) 上段()は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

【現行計画】

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³、ha)

市町村名	林 地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
士別市	2,347	(1,419) 69,261	71,608				
名寄市	-	(146) 4,717	4,717				
和寒町	7,979	(230) 17,720	25,699				
下川町	9,890	(1,272) 56,770	66,660				
中川町	3,029	(453) 26,483	29,512				
合計	23,245	(3,521) 174,951	198,196				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

【変更計画】

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³、ha)

市町村名	林 地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
士別市	2,667	(1,429) 69,513	72,180				
名寄市	-	(146) 4,717	4,717				
和寒町	7,979	(230) 17,720	25,699				
下川町	9,890	(1,621) 64,689	74,579				
中川町	4,833	(453) 26,483	31,316				
合計	25,369	(3,879) 183,122	208,491				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

【現行計画】

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	-	-	-	-	169	169
	複層林造成	28	-	-	-	86	114
	計	28	-	-	-	256	284
天然 更新	天然下種第1類	-	-	-	-	-	-
	天然下種第2類	-	-	-	-	-	-
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-
合 計		28	-	-	-	256	284

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	2,667	32	34	-	11,479	14,212
	つる切り	58	4	-	-	194	256
	除 伐	359	24	-	-	1,190	1,573

【変更計画】

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	-	-	-	-	173	173
	複層林造成	28	-	-	-	85	113
	計	28	-	-	-	258	286
天然 更新	天然下種第1類	-	-	-	-	-	-
	天然下種第2類	-	-	-	-	-	-
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-
合 計		28	-	-	-	258	286

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	2,667	32	34	-	11,529	14,262
	つる切り	58	4	-	-	194	256
	除 伐	359	24	-	-	1,190	1,573